



ふ 増えるごみ

たいりょうせいさんたいりょうしょうひ 大量生産と大量消費

現在の日本の社会では欲しいものがあれば買うことができます。便利な生活をするために、どんどんものを作り、どんどん捨ててきました。その結果、ごみが増えてしまいました。ごみ捨て場は限られています。ごみが増えると捨てる場所が早くいっぱいになります。しかし、みんなごみ捨て場を家の近くに作ってほしくないなどの理由から、次の場所を探すことはとても大変なのです。



ふほうとうき ごみの不法投棄

ごみを減らすために、様々な取組が進んでいます。家電製品や粗大ごみ、有害な物質が含まれているものなどは法律で処理の方法が決められました。しかし、そのようなごみを他人の土地や公共の土地に置いたり、捨てたりする人がいます。これはとても良くないことです。そこに住んでいる生き物も住めなくなってしまいます。



ひょうちやく うみ 漂着ごみ・海ごみ

日本は海に囲まれています。近年、日本の周りを流れる海流に乗って、国内や海外のごみが海岸に打ち寄せられています。ごみの種類はさまざまですがプラスチックごみがとても多いです。

海ごみで、ウミガメがいなくなる？

捨てられていたレジ袋が、強い風に飛ばされ、川にひらりと落ちてしまいました。

川の流れるにつれて、どんどん流されていきます。そして、海へ波に流され、どんどん

沖に、まるで「クラゲ」のように、ふわふわ、ぷかぷかと。

そこに大きなアカウミガメが、大好物の「クラゲ」だと思い、パクリとひとのみ。

あそこにも「クラゲ」が。それもパクリとひとのみ。

アカウミガメがつぶやく。

「今日のクラゲは、かたいな？
どんどんおなかにたまるな。
なんだか、苦しくなってきたよ」



現在、地球上に生息している

ウミガメは全て絶滅の危機に瀕しています。

ごみをエサと間違えて食べてしまい、死んでしまう場合もあります。

私たちは、地球やその環境を守るため、自分が出したごみは自分に責任を持ちましょう。